

《地域主体の地域福祉活動と場づくり(地域の茶の間や在宅福祉サービス)》

【地域の茶の間の間】

「地域の茶の間」は新潟県の地域福祉活動として、民間による活動の原型に新潟市として平成15年度から取り組んできた地域住民の活動である。

この活動は、自治会や自主的なグループなどを単位として、自宅のお茶の間にいるように自由に過ごせる場所を地域のなかにつくり出すこととするものである。既存の公的な集会所や民間の空き家といった施設を利用して開設している。

好きな時間に気軽に集まり、お茶飲み話やレクリエーションをすることで、地域に住む高齢者や障がい者が、自宅に閉じこもらないようにも、高齢者と幼見・子供たちとの多世代の交流などが実現できる。

新潟市では、こうした「地域の茶の間の間」活動が次第に浸透して、平成19年現在で250グループを越えており、また、全国規模の中間支援組織の財団や社団、NPO法人、JA、マスコミの力もあり、現在では、新潟県内ばかりでなく、新潟県発祥の手軽に取り組める地域活動として、全国に広がっている。

①地域の茶の間の開く効果

- 人と人、人と社会とのつながりができる
- お互いの不自由を知り、人への優しさが育ち、自分のできごとを知る（障がいに対する理解、心のバリアフリー）
- いざという時、困った時に助け合える人間関係が生まれる
- どのような状況の人にも役割
- 知り合うことで地域に暮らす安心感を育てる
- 地域住民が自然に自らのために力（人手、物、知恵、金）を出しあう
- 習いもの、趣味、知識、経験が生かせる
- 見野の広い子どもにも育つ、地域の人から見守られる安心感、子育て中の親の不安や孤独、束縛感の緩和
- 情報共有化が一度にできる（防災、防犯、健康相談、制度…）
- 伝統、文化の伝承（急須を使ってお茶を入れたことがない子ども・その他に伝わる料理、慣わし、作法…）
- 外出し、人と会うことは介護予防になる



写真 地域の茶の間の間



【キーマンの存在】河田圭子さん

「まごころへるる」の創設者であり、「地域の茶の間」の名付け親。現在は、「うちの美家」の運営に携わ

りながら、地域の福祉の質の向上のため人材育成や研修、講演活動を続けてい



河田 圭子さん

【ごちゃまぜネット(助け合い活動団体等情報交換会)】

ごちゃまぜネット(助け合い活動団体情報交換会)は、互いに自分たちの活動を紹介しあい、あくまでも相談相手の利益を重視した連携をすることを目的に、平成13年から始められた取組みである。きっかけは、まごころへるるの河田さんの、「自分の団体ができないことでも、他の団体がやっていたら、顔の見えぬ信頼関係の中で、困って相談を寄せられる方に情報提供でき、助け合うことができるところではないか」という提案のもと、市民団体に呼びかけたことである。

【市民力による在宅福祉サービス】

- ①まごころへるる
- 互いに助け合い活動で、助けてもらいやすい、活動しやす、継続性のある仕組みを創ることを目的とした活動
- ホームヘルプや配食サービスを実施

- ②うちの美家
- 街中に増える空き家を借りた生涯現役の場づくり(毎週型・常設型の地域の茶の間の間)
- 生涯現役とは、人と人が関わっている限り、人が社会とつながっている限り生涯現役と定義している

③うちの美家の効果

- 古い民家を借りているため、不自由な身体にはバリアが多く、逆に参加者同士の優しさが、自然に引き出される
- 段差だらけ、介護機器もない、不自由だからこそできる実際の家庭に役立つ介護技術研修、あるもので代用、工夫の知恵の伝授
- 地域の空洞化を防ぐ(町内会費、側溝掃除、道路掃除、回覧板…)
- 平成16年新潟県中部7、13水害時は、要介護高齢者5名の9日間の避難所として活用
- 平成16年新潟県中越地域の際は、川口町の泉水小学校仮設住宅の入居者の気分転換の家として活用



写真 まごころへるるの配食サービス

うちの美家とは

「うちの美家」は、空き家を借りて、「人とのつながりや活動の場」を創ることを目的として、地域住民と空き家所有者が協力して運営している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。



会員は参加費(雑費)と月会費(雑費)を支払っていただく。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。

項目	金額
年 会 費 (雑費)	2,000円
月 会 費 (雑費)	2,000円
入 居 料 (雑費)	10,000円
入 居 料 (雑費)	10,000円

地域の茶の間の間

「地域の茶の間の間」は、民間による活動の原型に新潟市として平成15年度から取り組んできた地域住民の活動である。この活動は、自治会や自主的なグループなどを単位として、自宅のお茶の間にいるように自由に過ごせる場所を地域のなかにつくり出すこととするものである。既存の公的な集会所や民間の空き家といった施設を利用して開設している。

子育て支援の間

子育て支援の間は、子育て世代の親子が集まり、子育てに関する情報交換や相談を行う場である。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。

介護支援の間

介護支援の間は、介護従事者や家族が集まり、介護に関する情報交換や相談を行う場である。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。

美家の間

「美家の間」は、空き家を借りて、「人とのつながりや活動の場」を創ることを目的として、地域住民と空き家所有者が協力して運営している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。

子育て支援の間

子育て支援の間は、子育て世代の親子が集まり、子育てに関する情報交換や相談を行う場である。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。

介護支援の間

介護支援の間は、介護従事者や家族が集まり、介護に関する情報交換や相談を行う場である。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。

「うちの美家」への思い

「うちの美家」は、空き家を借りて、「人とのつながりや活動の場」を創ることを目的として、地域住民と空き家所有者が協力して運営している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。また、地域の茶の間の間と連携して活動している。

交通案内

TEL&FAX 025-277-9898
〒950-0043 新潟市中央区山田1丁目5-1

写真 うちの美家紹介イベント



写真 ごちゃまぜネット

- 参加団体の種別
 - ・ 支援センター (相談含む)
 - ・ グループホーム (施設)
 - ・ 当事者団体 (作業所含む)
 - ・ 中間支援 (NPO支援など)
- 居場所
- 移送
- 環境
- 生きがい、健康
- その他
- 子育て
- 助け合い

- ①ごちゃまぜネットの取組み状況
- 平成13年から年間2回ペースで開催
- 参加者の規模も開催回数によって様々で、50人規模から最大で約650人が参加したケースもある